

# 都市再生整備計画(第6回変更)

うんの  
海野地区

ながの 長野県 とうみし 東御市

平成 27 年 3 月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	とうみ 東御市	地区名	うみのちく 海野地区	面積	51 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標
<p><b>歴史的なたずまいを継承し、居住環境・観光施設の再整備による地区の活性化</b></p> <p><b>①安全で安心して暮らせる居住環境の整備</b></p> <p><b>②来訪者が宿場町を堪能できるまちづくり</b></p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>海野地区にある海野宿は、北国街道の宿場として1625年に開設され、中山道と北陸街道を結ぶ街道として通行量が多く宿場として栄えました。明治21年信越本線の開通により宿場はその機能を失いつつあったが、それ以前から海野では養蚕業の町として当地方の中心的存在になっていました。昭和に入って、養蚕業の衰退とともに不要になった蚕室造の建物は身売りされ姿を消す建物もありましたが、現在でも当時の姿を残す建物があり、宿場と養蚕業の二つの顔を見ることが出来ます。</p> <p>昭和61年8月7日に旧建設省から「日本の道百選」の選定を受け、翌62年には重要伝統的建造物群保存地区に指定されました。このことにより、市では平成元年から道路環境整備を目的として、地方道路整備臨時交付金事業を導入し、歴史的町並みに調和した整備を進めてきました。平成4年に事業が完成し、平成6年には「手づくり郷土賞」を受賞しました。また毎年11月23日に海野宿ふれあい祭を開催し、ハード・ソフト両事業を織り交ぜ、海野地区活性化のために地域住民と協力したまちづくりをしております。</p> <p>東御市では、平成16年から平成25年を目標年次として第一次総合計画を策定しており、観光地としてのイメージアップ、観光施設の整備と利用促進など取り組んできています。魅力ある観光地づくりのために、観光客の視点に立った楽しみ方である“TTD”(ためになる、体験できる、ドライブする)を強化するようにしています。</p>
課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道田中・西海野線が国道18号の抜け道として交通量が多く、住民及び観光客に危険を及ぼしている。</li> <li>・重要伝統的建造物群保存地区では排水状況が悪いところがあり、大雨時には建物に床下浸水などの被害が起き(2008年6月)、住民の生活を脅かしている。</li> <li>・海野宿は、浅間サンライン・上信越自動車道の開通、長野新幹線の開業により広く知られるところとなり、平成18年度(237,000人)までは順調に観光客が増加していたが、それ以降は観光客が減少している。</li> <li>・トイレが海野駐車場1ヶ所にしかなく、観光客が民家やお土産屋で借りるケースがあるために、住民と観光客から苦情が寄せられている。</li> <li>・海野宿や東御市の歴史・地域文化・特産品を観光客に対して紹介・情報提供をする、無料で観光客が気軽に立ち寄れる施設がない。</li> <li>・大型バスが駐車できる駐車場が、海野宿付近に整備されていない。そのため海野宿駐車場に大型バスを強引に駐車している。</li> </ul>
将来ビジョン(中長期)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適でゆとりのある住環境整備を進め、災害や事故を未然に防ぐために必要な施設等の整備を行うことによって、暮らしやすい居住環境を整備していく。</li> <li>・海野地区において拠点施設を効果的に運営し、観光客の滞在時間の増加や再訪を促す魅力ある観光地として創造していく。</li> </ul>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
住民の満足度	ポイント	地区環境・居住環境に対する満足度のアンケート調査	住民の満足度が向上することによって、目標①の安全で安心して暮らせる居住環境の整備が達成したと判断できる。	1	平成21年度	1.25	平成26年度
観光客数	人/年	東御市海野宿への観光客数	観光客数の減少を食い止めることによって、目標②の海野宿を堪能できる魅力あるまちづくりが達成したと判断できる。	232,400	平成20年	232,400	平成25年
車両通行量	台/12h	海野宿内を通過する車両台数	海野宿内を通過する車両が減少することにより①の安全で安心して暮らせる居住環境②の海野宿を堪能できる環境整備ができたと判断できる。	2,135	平成21年度	500	平成26年度

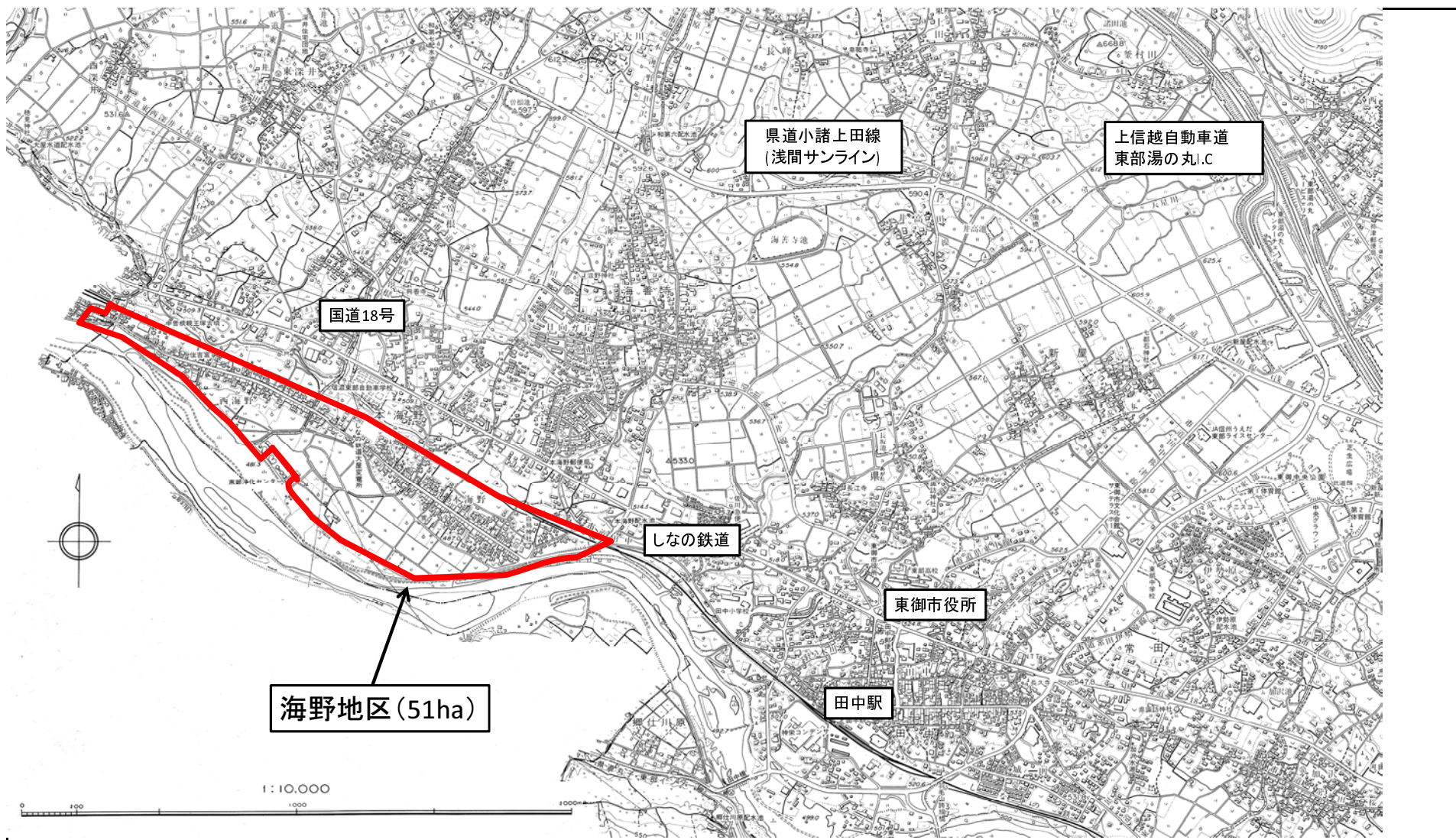
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1(交通環境・居住環境の改善による安心・安全の快適居住空間の創造)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海野バイパスを新設することによって市道田中・西海野線の交通量が減り、住民や観光客の安全の確保を目指す。</li> <li>重要伝統的建造物やその他住宅・畑に、床下浸水などの被害が発生しないよう排水路を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海野バイパス新設事業(基幹事業:道路)</li> <li>西海野歩道整備事業(基幹事業:道路)</li> <li>海野宿西側排水路整備事業(提案事業)</li> <li>西海野北側排水路整備事業(提案事業)</li> <li>本海野水路新設工事(関連事業)</li> </ul>
<p><b>整備方針2(景観の改善)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海野バイパスを新設することによって宿場内を通過する車両の減少が図れ、それに伴い景観の改善も図る。</li> <li>西海野歩道整備事業で、植栽帯と歩道の区分けを明確にし、また一部未舗装であった歩道を整備することにより、西海野区の景観の改善を目指す。</li> <li>宿場町としての海野地区の一体感を生み出すために、西海野区の外灯に景観に配慮したものを設置する。</li> <li>維持管理しやすい排水路を設置することによって、景観の向上を目指す。</li> <li>海野地区のまちなみの一体感を創出することによって、観光客が飽きることなく観光できるようにし、またこれによって滞在時間の増加を図る。</li> <li>宿場町としての面影を引き立たせるよう、道路の色を改良する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海野バイパス新設事業(基幹事業:道路)</li> <li>田中・西海野線舗装整備事業(基幹事業:道路)</li> <li>西海野歩道整備事業(基幹事業:道路)</li> <li>西海野街路灯整備事業(基幹事業:高質空間形成施設)</li> <li>西海野北側排水路整備事業(提案事業)</li> </ul>
<p><b>整備方針3(観光施設の再整備)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光客が気軽に寄れる無料休憩所を整備することによって、観光客の海野宿に対する満足度の向上を図り、再訪を促す。</li> <li>東御市と海野宿の情報提供スペースを設置することにより、観光客に東御市と海野宿の素晴らしさをより知っていただくことを図る。</li> <li>公衆トイレを海野宿西側に作ることによって、住民と観光客からの苦情の削減を目指す。</li> <li>海野宿の近くに大型バスを駐車できる駐車場を整備することによって、駐車場の利便性の向上を図り、さらなる観光客の増加を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>田中30号線整備事業(基幹事業:道路)</li> <li>海野宿看板整備事業(基幹事業:地域生活基盤施設)</li> <li>西海野街路灯整備事業(基幹事業:高質空間形成施設)</li> <li>海野宿駐車場整備事業(基幹事業:地域生活基盤施設)</li> <li>パンフレット制作事業(提案事業)</li> <li>重要文化財建造物等公開活用事業(関連事業)</li> </ul>
<p>その他</p> <p>○東御市都市計画マスタープラン“まちづくりの目標”</p> <p>☆基本理念:『さわやかな風と出会いの元気発信都市』</p> <p>★将来都市像:『人・自然・暮らしをつなぐ元気創造都市 東御』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来都市像実現のためのまちづくりの目標             <ol style="list-style-type: none"> <li>豊かな自然に恵まれ居住環境の整った住みよいまちづくり</li> <li>人々が活発に活動・交流し、活力を生み出すまちづくり</li> <li>快適で安心していつまでも暮らし続けたいと思えるまちづくり</li> <li>市民と行政が協働してつくるまちづくり</li> </ol> </li> </ul> <p>◎東御市では魅力ある観光地づくりのために、海野宿をはじめとする観光資源・環境の整備や拠点施設の効果的な運営、東信濃の歴史・文化、食と物産、農業体験などの潜在的な観光資源の発掘と活用に努めることにより、観光客の滞在や再訪を促す観光地の創造、交流の促進、関連産業の活性化を進めています。(第一次東御市総合計画後期基本計画)</p>	



都市再生整備計画の区域

海野地区(長野県東御市)	面積	51 ha	区域	東御市本海野の一部及び西海野の一部
--------------	----	-------	----	-------------------



# 海野地区(長野県東御市) 整備方針概要図

目標	歴史的なたたずまいを継承し、居住環境・観光施設の再整備による地区の活性化。	代表的な指標	住民の満足度 (ポイント)	1 (21年度)	→	1.25 (26年度)
			観光客数 (人/年)	232,400 (20年)	→	232,400 (25年)
			車両通行量 (台/12h)	2,135 (21年度)	→	500 (26年度)

